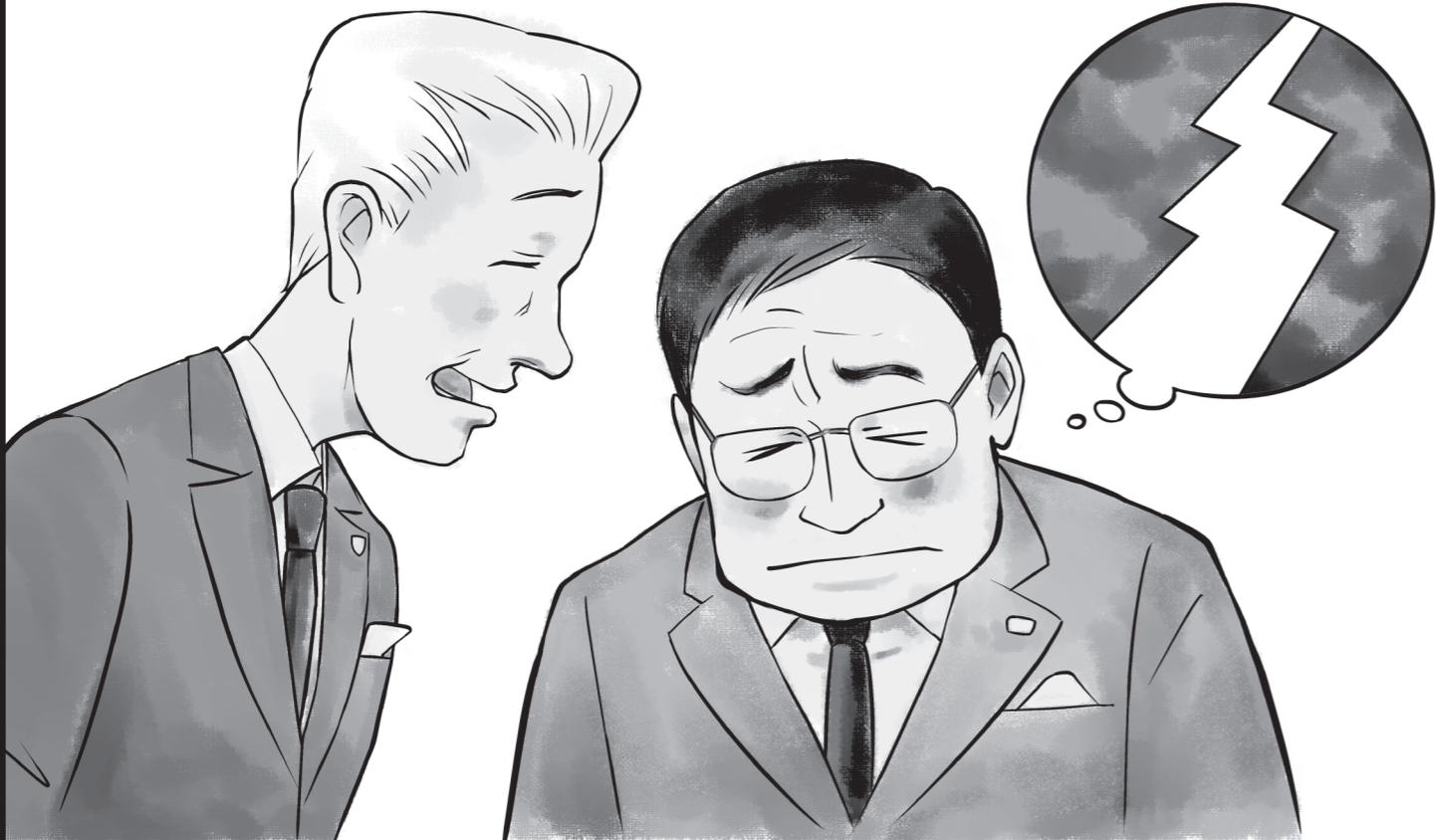


雷にやられたって!?! 損害はいくらだったのよ——



物損による被害額 < 操業停止による収入減

雷さまにお立ち寄りされた産業機械は、1日では直りません

工場や物流倉庫の落雷被害は、物損による被害額より、施設停止による被害額の方が大きくなります。操業停止による損失は、損害保険ではカバーされません。

2023年8月日本に落ちた雷の総数は、なんと100万発以上*。落雷による被害を重く受け止めている企業は、続々と「避雷球」に切り替えています。「避雷球」は、落雷をなるべく招かない性能を極限まで追求した最新の避雷設備。“あとづけ”で対策ができるから、安心です。

*出展) <https://www.franklinjapan.jp/raiburari/data/1661/>

落雷被害を減らそうと、さまざまな業種やシーンで新型避雷針の設置が増えています。



データセンタ



工場



鉄道施設 (JR/私鉄各社)



日産スタジアム



地球深部探査船「ちきゅう」
(画像提供) JAMSTEC

